

かごしまエコファンド制度実施要領

(目的)

第1条 この要領は、「かごしまエコファンド制度実施要綱（以下「要綱」という。）」に規定する事項の適正かつ円滑な実施に必要な事項について定める。

(申請)

第2条 要綱第7条の規定による登録申請書に添付すべき書類は、次のとおりとする。

- (1) 誓約書（1号様式）
- (2) プロジェクト計画書（2号様式）
- (3) 位置図（1／50,000～1／25,000）
- (4) 施業図（1／5,000）
- (5) 現況写真
- (6) その他認証運営委員会が必要とする書類

2 申請書の提出部数は2部とする。

(プロジェクトの登録)

第3条 要綱第8条第1項の規定による審査は、別に定める「かごしまエコファンド制度審査要領」により行うものとする。

2 要綱第8条第2項の規定によるプロジェクト登録簿に登載する事項は、次のとおりとする。

- (1) 番号
- (2) プロジェクト名
- (3) プロジェクト事業者名
- (4) プロジェクト実施箇所
- (5) プロジェクト実施期間
- (6) プロジェクトによる想定吸収量
- (7) プロジェクト登録日

(プロジェクトの内容等の変更)

第4条 要綱第10条及び第18条におけるプロジェクトの内容等の重要な変更は、次に定めるとおりとする。

- (1) プロジェクトの実施箇所、大幅な面積の変更
- (2) 寄付プロジェクトにおいては、費用の変更

2 要綱第10条第1項の規定による変更登録申請書に添付すべき書類は、次のとおりとする。

- (1) プロジェクト計画書（2号様式）
- (2) 位置図（1／50,000～1／25,000）

- (3) 施業図（1／5，000）
- (4) 現況写真
- (5) その他認証運営委員会が必要とする書類

（クレジットの認証）

第5条 要綱第11条第1項の規定によるクレジット認証申請書に添付すべき書類は、次のとおりとする。ただし、補助金を受けて森林整備をした場合、補助申請に関する申請書類の写しを添付するものとする。

- (1) プロジェクト実績書（3号様式）
- (2) 位置図（1／50，000～1／25，000）
- (3) 施業図（1／5，000）
- (4) 実測図又は国土調査の成果図面（地積図）
- (5) 整備対象森林の整備後の写真
- (6) その他認証運営委員会が必要とする書類

（二酸化炭素削減・吸収量の算定）

第6条 要綱第11条第2項の規定する算定に当たっては、別に定める「かごしまCO₂吸収量等算定基準」により算定する。

（クレジットの登録）

第7条 要綱第11条第3項の規定による審査は、別に定める「かごしまエコファンド制度審査要領」により行うものとする。

2 要綱第11条第4項の規定によるクレジット登録簿に搭載する事項は、次のとおりとする。

- (1) 番号
- (2) プロジェクト名
- (3) プロジェクト事業者名
- (4) クレジット認証量
- (5) クレジット無効化（取引済）量
- (6) クレジット残量
- (7) クレジット取引先
- (8) クレジット取引完了日

（クレジット取引の処理）

第8条 要綱第12条第2項の規定によるプロジェクト事業者への通知は、クレジット量通知書（4号様式）により行うものとする。

2 プロジェクト事業者は、県へクレジットに係る販売代金の活用状況の報告について、クレジット活用状況報告書（5号様式）により行うものとする。

3 公社は、クレジット代金の納入が確認された場合は、「かごしまエコファンド制度会計規程」第10条に規定する「クレジット代金台帳」により、県に報告する。

(クレジットの価格)

第9条 要綱第13条におけるクレジットの売買に係るクレジットの価格は、1 t-CO₂ あたり 3, 0 0 0 円とする。

2 クレジット販売単位は、1 t-CO₂ 以上、1 0 0 kg-CO₂ 単位とする。

(寄付プロジェクトの申請)

第10条 要綱第15条の規定による申請書に添付すべき書類は、次のとおりとする。

- (1) 誓約書（1号様式）
- (2) 寄付プロジェクト計画書（6号様式）
- (3) 位置図，施業図，写真
- (4) その他認証運営委員会が必要とする書類

(寄付プロジェクトの登録)

第11条 要綱第16条第1項の規定による審査は、別に定める「かごしまエコファンド制度審査要領」により行うものとする。

2 要綱第16条第2項の規定による寄付プロジェクト登録簿に登載する事項は、次のとおりとする。

- (1) 番号
- (2) プロジェクト名
- (3) プロジェクト事業者名
- (4) プロジェクト実施箇所
- (5) プロジェクト実施予定年度
- (6) プロジェクト実施費用及び最低実施可能額
- (7) プロジェクト登録日

(寄付プロジェクトの支援の決定)

第12条 要綱第17条の規定による寄付プロジェクト事業者への支援決定の通知は、寄付プロジェクト支援決定通知書（7号様式）により行うものとする。

(寄付プロジェクトの実績報告)

第13条 要綱第19条第2項の規定による実績報告は、寄付プロジェクト実績報告書（8号様式）により行うものとする。

2 要綱第19条第3項の規定による寄付申込者への報告は、寄付プロジェクト完了報告書（9号様式）により行うものとする。

(その他)

第14条 この要領に定めるもののほか、当該制度に関し必要な事項については、別に定める。

附 則

この要領は、平成 23 年 3 月 29 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 24 年 3 月 26 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 25 年 3 月 27 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 2 年 12 月 21 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 4 年 10 月 7 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

(1号様式)

令和 年 月 日

鹿児島県知事 殿

プロジェクト事業者
住所
氏名

かごしまエコファンド制度利用に伴う誓約書

当事業者は、かごしまエコファンド制度利用約款及びかごしまエコファンド特約の内容を確認の上、これに従うことを誓約いたします。

記

1 プロジェクト名

(2号様式)

かごしまエコファンド制度
プロジェクト計画書

プロジェクト名

プロジェクト事業者名

年 月 日 提出

1 申請者

事業者名（フリガナ）			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者E-mail		担当者電話番号	

2 プロジェクトの概要

(1) プロジェクトの目的

(目的及びクレジット代金の活用まで記載する)

(2) 実施箇所地番・面積ほか

番号	実施箇所地番	面積	樹種	林齢	計画認定番号	備 考

※計画認定番号欄には、森林経営計画の認定番号を記載

(3) 施業方法

①間伐の場合

番号	実施箇所地番	面積	間伐率	間伐方法	施業時期	施業履歴

※「間伐方法」欄には、定性間伐・定量間伐（列状）の別を記載

②植栽の場合

番号	実施箇所地番	面積	植栽樹種	植栽本数	施業時期	土地区分

※「土地区分」欄には、植栽前の土地利用カテゴリー（農地、草地等）の別を記載

(4) 実施箇所概要

プロジェクト対象地の位置図，対象地全体の地図等を用いて，実施箇所について分かりやすく説明する。

3 活動の概要

(1) プロジェクトの基準の適用

①間伐の場合

区 分		満たしている	満たしていない
要件	1 プロジェクト実施地は、森林法第5条又は第7条の2に定める森林であること。	☐	☐
	2 プロジェクト実施地は、森林経営計画等が計画され、持続的な森林経営の対象地であることが証明されること。また、クレジット発行対象期間内に当該プロジェクト実施地の森林経営計画等において転用及び主伐が計画されていないこと。	☐	☐
	3 2010年4月1日以降に森林経営計画等に基づき施業（間伐）されたものであること	☐	☐
基準	1 面積は、1箇所あたり0.1ha以上とする。	☐	☐
	2 間伐率は、20%以上とする。	☐	☐
	3 樹種は、スギ及びヒノキを対象とする。	☐	☐

②植栽の場合

区 分		満たしている	満たしていない
要件	1 プロジェクト実施地は、2010年3月31日時点で森林法第5条又は第7条の2に定める森林（森林計画対象森林）でないこと。	☐	☐
	2 プロジェクト実施地は、森林計画対象森林に含まれるよう必要な措置がとられていること、又は当該プロジェクトにより既に森林計画対象森林とされていること。	☐	☐
	3 2010年4月1日以降に森林経営計画等に基づき施業（植栽）されたものであること。	☐	☐
基準	1 面積は、1箇所あたり0.1ha以上とする。	☐	☐
	2 植栽本数は、1haあたり2000本以上とする。	☐	☐
	3 植栽樹種は、スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹を対象とする。	☐	☐

(2) 全体計画期間

年 月 日 ～ 年 月 日（年 ヶ月）

(3) 想定吸収量

年度						合計
吸収量 (t-CO ₂)						

(4) 補助金の状況

受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない
補助事業名称	
補助金額 (申請額含む)	・
補助対象年月日	年 月 日 ~ 年 月 日
補助金を受給している ことを証明する書類	(施業履歴及び林齢樹種ごとの実測面積の証跡として使用する補助 金受給事業については、資料を必ず添付すること)

(5) 他制度への申請

申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無
制度名 (有の場合のみ)	

(6) その他

① プロジェクトどおりに施業が実施されない可能性に関する情報

施業計画通りに実施しな い可能性	有 無	(「有」の場合の理由)
プロジェクト対象である 森林が転用される可能性	有 無	(「有」の場合の理由)

②特記事項

--

3 (3) - (詳細) 想定削減・吸収量の算定

①間伐

番号	実施箇所地番 (林小班)	樹種	林齢	面積 A	成長量 B	容積密度 C	拡大係数 D	地下部・ 地上部比 E	炭素含 有率 F	CO ₂ 換 算係数 G	CO ₂ 吸収量 H (A*B*C*D*(1+E)*F*G)
計											

②植栽

番号	実施箇所地番 (林小班)	樹種	林齢	面積 a	成長量 b	容積密度 c	拡大係数 d	地下部・ 地上部比 e	炭素含 有率 f	CO ₂ 換 算係数 g	バイオマス ストック量 h	CO ₂ 吸収量 i (a*b*c*d*(1+e)*f*g)-(a*f*g*h)
計												

(用語)

- ①成長量： 「平成20年4月鹿児島県林務水産部林分収穫表」により算出した単位面積当たりの成長量(m³/ha)
- ②容積密度： 成長量をバイオマス量(乾燥重量)に換算するための係数(t/m³)
- ③拡大係数： 幹材積の成長量に枝や葉の成長量を加算補正するための係数
- ④地下部・地上部比： 地上部の量に対する地下部の量の割合
- ⑤炭素含有率： 樹木の乾燥重量に占める炭素比率
- ⑥CO₂換算係数： 炭素量を二酸化炭素に換算するための係数(44/12)
- ⑦バイオマスストック量： 植栽を実施時に、伐採・刈り払いされる植栽対象地(例：草地)のバイオマス蓄積量

4 モニタリング

(1) 適用する基準

パラメータ	方法		備考 (適用する数値)
面積	☐ 実測 ☐ 地籍図 ☐ その他（「森林GIS」など具体的に記載）		原則，実測を採用する
拡大係数	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
地下部・地上部比	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
容積密度	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
炭素含有率	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
成長量	☐	鹿児島県林分収穫表	
バイオマス ストック量 (植栽のみ適用)	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	

(2) モニタリングプロット

① モニタリングプロットの選定理由

--

② モニタリングプロット一覧

番号	実施箇所地番(林小班)	面積	樹種	林齢	備考

(3) 吸収量の算定式

①間伐

$$\text{吸収量} = \text{活動量} \times \text{成長量} \times \text{容積密度} \times \text{拡大係数} \times (1 + \text{地下部・地上部比})$$

$$\times \text{炭素含有率} \times \text{CO}_2 \text{換算係数}$$
 ※樹種別・林齢別・地位別に算定する。

②植栽

$$\text{吸収量} = \text{活動量} \times \{ \text{成長量} \times \text{容積密度} \times \text{拡大係数} \times (1 + \text{地下部・地上部比})$$

$$\times \text{炭素含有率} \times \text{CO}_2 \text{換算係数} - (\text{バイオマスストック量} \times \text{炭素含有率} \times \text{CO}_2 \text{換算係数}) \}$$
 ※樹種別・対象地別に算定する。

※対象地については，別表2の土地利用カテゴリー（例：農地，草地）を参照

5 モニタリング詳細
(面積・地位)

番号	実施箇所地番 (林小班名)	区分	測定方法	測定方法の詳細	測定 頻度	計画値	備考
	同一小班名は識別可能な 方法で記述		測定方法 を記入	具体的な測定方法を記入		面積：該当する 地番の面積 地位：地位区分	①施業年（林齢） ②特筆すべき事項があれば記入
例	〇〇町××〇〇〇〇番地 (1 林班-ア-10-ア)	面積	実測	間伐を実施した小班毎に コンパスを用いて…	モニタリ ング時に 1 回	2.0ha	①2008年度（42年） ②2005年，2010年に間伐 を実施
		地位	実測	プロット内の上層木2本 以上，樹高を測定し，S I L K S・Hにより…	モニタリ ング時に 1 回	中	
1							
2							
3							
4							
5							
6							

(別表 1) 容積密度, 拡大係数, 地上部・地下部比, 炭素含有率

区分		密度係数	拡大係数		地下部 地上部比	炭素 含有率
			20年生以下	21年生以上		
針葉樹	スギ	0.31	1.57	1.23	0.25	0.51
	ヒノキ	0.41	1.55	1.24	0.26	
	クロマツ	0.46	1.39	1.36	0.34	
	その他針葉樹	0.42	1.40	1.40	0.40	
広葉樹	ブナ	0.57	1.58	1.32	0.26	0.48
	カシ	0.65	1.52	1.33	0.26	
	クリ	0.42	1.33	1.18	0.26	
	クヌギ	0.67	1.36	1.32	0.26	
	ナラ	0.62	1.40	1.26	0.26	
	ハンノキ	0.45	1.33	1.25	0.26	
	ニレ	0.49	1.33	1.18	0.26	
	ケヤキ	0.61	1.58	1.28	0.26	
	カツラ	0.45	1.33	1.18	0.26	
	ホオノキ	0.39	1.33	1.18	0.26	
	カエデ	0.52	1.33	1.18	0.26	
	キハダ	0.34	1.33	1.18	0.26	
	シナノキ	0.37	1.33	1.18	0.26	
	センノキ	0.40	1.33	1.18	0.26	
	キリ	0.23	1.33	1.18	0.26	
	その他広葉樹	0.47	1.37	1.37	0.26	

(別表 2) 土地利用毎のバイオマスストック量及びCO₂蓄積量

土地利用カテゴリー			バイオマス ストック量 [t-dm/ha]	炭素含有率 (t-C/t-dm)	CO ₂ 換算係数	CO ₂ 蓄積量 (t-CO ₂ /ha)
転 用 前	農地	田	2.00	0.5	44/12	3.67
		普通畑	1.30			2.38
		樹園地	-			-
	草地		13.50			24.75
	湿地, 開発地, その他の土地		0.00			0.00

(3号様式)

かごしまエコファンド制度
プロジェクト実績書

プロジェクト名

プロジェクト事業者名

年 月 日 提出

1 報告者

事業者名（フリガナ）			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者E-mail		担当者電話番号	

2 クレジット代金の活用

--

3 実績

（1）間伐の場合

実績 番号	計画 番号	実施箇所地番	面積	間伐率	間伐方法	施業期間

※「間伐方法」欄には、定性間伐・定量間伐（列状）の別を記載

（2）植栽の場合

実績 番号	計画 番号	実施箇所地番	面積	植栽樹種	植栽 <u>本数</u>	施業期間

4 モニタリング

（1）採用した基準

パラメータ	方法		備考
面積	☐	実測	原則，実測 を採用する
	☐	地籍図	
	☐	その他（「森林GIS」など具体的に記載）	
拡大係数	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
地下部・地上 部比	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
容積密度	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
炭素含有率	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	
成長量	☐	鹿児島県林分収穫表	
プロジェクト 排出量	☐	日本国温室効果ガスインベントリ報告の値	

計画書と異なる場合は，備考欄に記載する。

(2) モニタリング実施箇所

番号	実施箇所地番(林小班)	面積	樹種	林齢	備考
1					
2					
3					
4					
5					

計画書と異なる場合は、備考欄に記載する。

(3) 付属資料

- ① 地位特定調査野帳（参考）
- ② 伐採届（写し）
- ③ モニタリング対象森林の写真
- ④ モニタリング箇所位置図

（参考） 地位特定調査野帳

モニタリング実施日

記入者

プロット面積 10m×10m=100 m²

プロット No.	実施箇所 (林小班)	樹種	林齢	間伐 実施 年度	プロット設置		本数			プロット 内立木 本数	樹高			地位
					新設	既設	成立 本数	伐採 本数	間伐 率		1	2	平均	

各プロットに対応する写真を2枚以上撮影し、貼付する。

（プロット全景及び林相が分かる写真）

(4) モニタリング詳細

番号	実施箇所地番 (林小班名)	区分	測定方法	測定方法の詳細	測定値	備考
	同一小班名は識別可能な 方法で記述		測定方法 を記入	具体的な測定方法を記入	面積：該当する 地番の面積 地位：地位区分	①施業年（林齢） ②特筆すべき事項があれば 記入
例	〇〇町××〇〇〇〇番地 (1 林班-ア-10-ア)	面積	実測	間伐を実施した小班毎にコンパスを 用いて…	2.0ha	①2008年度（42年） ②2005年，2010年に間伐を 実施
		地位	実測	プロット内の上層木2本以上，樹高 を測定し，S I L K S・Hにより…	中	
1						
2						
3						
4						
5						

(5) モニタリング実施箇所の吸収量の算定

① 間伐

吸収量＝活動量×成長量×容積密度×拡大係数×（1＋地下部・地上部比）×炭素含有率×CO₂換算係数

※樹種別・林齢別・地位別に算定する。

番号	実施箇所地番 (林小班)	間伐 実施 年度	樹種	林齢	地位	面積 A	成長量 B	容積 密度 C	拡大 係数 D	地下部・ 地上部比 E	炭素含 有率 F	CO ₂ 換 算係数 G	CO ₂ 吸収量 H (A*B*C*D*(1+E)*F*G)
計													

② 植栽

吸収量＝活動量×{成長量×容積密度×拡大係数×(1＋地下部・地上部比)×炭素含有率×CO₂換算係数－プロジェクト

排出量×炭素含有率×CO₂換算係数}

※樹種別・対象地別に算定する。

番号	実施箇所地番 (林小班)	植栽 年度	樹種	林齢	面積 a	成長量 b	容積 密度 c	拡大 係数 d	地下部・ 地上部比 e	炭素含 有率 f	CO ₂ 換 算係数 g	バイオマス ストック量 h	CO ₂ 吸収量 i (a*b*c*d*(1+e)*f *g)-(a*f*g*h)
計													

(用語) ①成長量：「平成20年4月鹿児島県林務水産部林分収穫表」により算出した単位面積当たりの成長量(m³/ha)

②容積密度：成長量をバイオマス量(乾燥重量)に換算するための係数(t/m³)

③拡大係数：幹材積の成長量に枝や葉の成長量を加算補正するための係数

④地下部・地上部比：地上部の量に対する地下部の量の割合

⑤炭素含有率：樹木の乾燥重量に占める炭素比率

⑥CO₂換算係数：炭素量を二酸化炭素に換算するための係数(44/12)

⑦バイオマスストック量：植栽を実施時に、伐採・刈り払いされる植栽対象地(例：草地)

(4号様式)

年 月 日

プロジェクト事業者

様

公益財団法人鹿児島県森林整備公社
理事長

かごしまエコファンドクレジット量通知書

年 月 日付けで認証したクレジットについて、年 月 日現在のクレジット量を下記のとおり通知します。

記

1 プロジェクト登録番号

2 プロジェクト名

3 クレジット量

(単位：t-CO₂)

認証量 (a)	販売済量 (b)	取引番号	取引量 (c)	取引先	活用内容	取引 完了日	残量 (a-b-c)

4 注意事項

(1) 取引したクレジットに係る代金については、プロジェクト計画書に基づき活用し、5号様式により活用状況を報告して下さい。

5 その他

クレジットの取引状況は、かごしまエコファンド制度web上で確認できます。

(URL : <http://kagoshima-ecofund.jp/credit/list>)

(5号様式)

年 月 日

鹿児島県知事 殿

プロジェクト事業者
住所
氏名

かごしまエコファンドクレジット活用状況報告書

かごしまエコファンド制度におけるクレジットに係る販売代金の活用状況について、下記のとおり報告します。

記

1 プロジェクト登録番号

2 プロジェクト名

3 クレジットの活用状況

(1) 活用内容

(2) 活用時期

(3) 費 用

(4) その他（実施状況の図面，写真等あれば添付）

4 連絡先 所 属：

担当者名：

電話番号：

メールアドレス：

(6号様式)

かごしまエコファンド制度
プロジェクト計画書
(寄付プロジェクト)

プロジェクト名

プロジェクト事業者名

年 月 日 提出

1 申請者

事業者名（フリガナ）			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者E-mail		担当者電話番号	

※協議会等の場合、構成員一覧表を添付する。

2 プロジェクトの概要

（1）プロジェクトの目的

--

（2）実施箇所及び内容

番号	実施箇所地番	活動内容（具体的に）	実施費用 （最低実施可能額）	備考 （実施予定年度）
合計				

※費用については、内訳を添付すること。

(3) 特筆すべき活動内容

(地域との連携など特色ある活動内容を記入)

(4) 実施箇所概要

(プロジェクト活動内容が説明できる図及び位置図等)

(7号様式)

年 月 日

プロジェクト事業者
氏名 様

鹿児島県知事

かごしまエコファンド寄付プロジェクト支援決定通知書

年 月 日付けで登録した，かごしまエコファンド制度におけるプロジェクトについては，かごしまエコファンド制度実施要綱第17条の規定に基づき下記のとおり支援を決定しました。

記

1 プロジェクト登録番号

2 プロジェクト名

3 支援金額 一金 円

4 寄付者
住所
氏名

5 支援の条件

- (1) プロジェクト終了後，プロジェクトを実施した森林等については，5年以上適正に管理すること。
- (2) プロジェクトの一部又は全部の実施が困難となった場合は，支援金額の一部又は全部を速やかに返納すること。

(8号様式)

年 月 日

鹿児島県知事 殿

プロジェクト事業者
住所
氏名

かごしまエコファンド寄付プロジェクト実績報告書

かごしまエコファンド制度におけるプロジェクトを実施したので、下記のとおり実績を報告します。

記

1 プロジェクト名

2 プロジェクトの概要

(1) 目的

(2) 実施内容

(3) 実施場所

(4) 実施期間

年 月 日 ～ 年 月 日

(5) 寄付金額

円

3 添付書類

(1) プロジェクト実績書(別紙1)

(2) 位置図(1/50,000～1/25,000)

(3) 施業図(1/5,000)

(4) その他

4 連絡先 所 属:

担当者名:

電話番号:

メールアドレス:

(別紙1)

寄付プロジェクト実績書

1 プロジェクトの実施箇所及び内容

番号	実施箇所地番	活動内容（具体的に）	実施時期	実施費用
合計				

※費用については、内訳を添付すること。

2 特筆すべき活動内容

--

3 実施状況

(実施状況が分かる図面、写真等)

--

(9号様式)

年 月 日

寄付申込者

様

鹿児島県知事

かごしまエコファンド寄付プロジェクト完了報告書

年 月 日付けで申込のあった寄付については、プロジェクトを完了したので、下記のとおり報告します。

記

1 プロジェクト名

2 プロジェクトの概要

(1) 目的

(2) 内容

(3) 実施場所

(4) 実施期間

(5) 支援額

(全体額)

3 添付書類

(1) 寄付プロジェクト実績書

(2) 施業前、施業後状況写真